

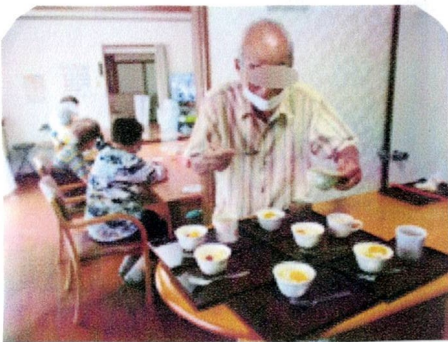


今月のなかはなさん 伊勢湾台風の話

昭和34年9月26日 大きい台風がくる情報をラジオで知った。その当時は台風に備えての水など用意はしなかった。水は井戸があるし電気が消えたら缶にろうそくを立てて火をともした。台風が近づき風が強くなるとタタミをあげて窓に立てかけ家族でおさえていた。二見町にすんでいた方は、町内の親戚の家に家族で避難をし、風が強くなった夜中、コンクリートでかこってある2〜3畳程の芋小屋(芋を長いと保存しておく場所)にかくれた。台風が去った次の日は良い天気でした。家に戻ると近所さんの家はへっぺん、私の家は台所を残して半分なくなっていた。家の中の(まどけさんの扉はちぎれてなくて、後日、浜に落ちていたのを、みつけたんよ…… 戦争が終わったと思ったら、伊勢湾台風がきて、町はめちゃめちゃ、ようこまで皆さん乗り越えなしたわと思います。とお話きかせて頂きました。



午前中の主な活動は、機能訓練指導員による筋力運動、脳のトレーニングをしています。自分で目標回数を決めて楽しく運動をしています。



蒸しまんじゅうを作っています



バランスゲーム

塔に入形を順番にのせています。みなさん息がぴったりで全部のせきれました。

